Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

成 2 平 月 国土交通省九州地方整備局 玉

記者発表資料

「事故危険区間」を選定しました ~ 事故危険区間の主な代表箇所を公表 ~

国土交通省佐賀国道事務所では、限られた予算の中で交通事故対策 への投資効率を最大限高めるため、「事故ゼロプラン(事故危険区間重点 解消作戦)」を平成22年12月に策定し、交通事故対策を進めています。

今回、最新の事故データや地域の声等を反映し、事故危険区間リストを 更新し、「佐賀県道路交通環境安全推進連絡会議」において議論してまい りましたが、このたび「事故危険区間」が承認されましたのでお知らせしま す。

佐賀国道事務所管内において

事故危険区間として、371区間(主な代表箇所47箇所)を選定しました。

- 佐賀県事故ゼロプランの取り組み
- 別紙-2

別紙-1

- 佐賀国道事務所管内における事故危険区間(主な代表) 箇所)の位置図
- ※事故ゼロプランとは、交通事故が多発する特定の区間等に対して、集中的・重点 的に交通事故対策を実施することで、交通事故の撲滅を目指す取り組みです。

事故しプラン展開中

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 佐賀国道事務所

TEL 0952-32-1151(代表)

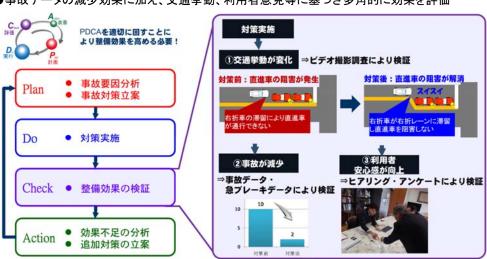
やまぐち まさじ 山口 正二 技術副所長 (内線205)

たかぎしひでふみ 交通対策課長 (内線471)

- 佐賀県内の直轄国道においては、交通事故が多発する区間に対して集中的・重点的に交通事故対策を進める「事故ゼロプラン」を展開しています。
- 〇「事故ゼロプラン」導入(H22)から4年が経過したことを受け、対策を実施した箇所については、事故データ、交通挙動、利用者意見等から多角的に整備効果を検証してまいりました。
- 〇 また、事故危険区間リストは、最新事故データや地域の声等を反映し、見直しました。

整備効果の検証

- ●PDCAサイクルの観点から、整備効果を検証
- ●事故データの減少効果に加え、交通挙動、利用者意見等に基づき多角的に効果を評価



検証事例1: 国道34号 佐賀警察署前交差点改良

対策後

▲右折車の直進車線へのはみ出し回数

み 出 20

∪ **⊡15**

<u> 10</u>

5

●右折レーンの延伸により、右折待機車両の直進車線への はみ出し挙動が解消

●これにより、「ブレーキ回数の減少」等の整備効果が発現

右折車線の延伸により渋滞は緩 和したと感じている。 現在は車線変更が減少して追突 沿道施設 事故が減ったと感じる。

70

キ 回 65

<u>a</u> 60

か 55 月







対策前

59

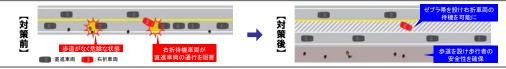
検証事例2: 国道34号 大崎歩道整備

●歩道の整備により、歩行者が国道を通行するときの危険性が解消

●ゼブラ帯により、沿道施設への右折車による直進車通行阻害が解消



歩道ができたので歩行 者を気にせずに走行で きるようになった





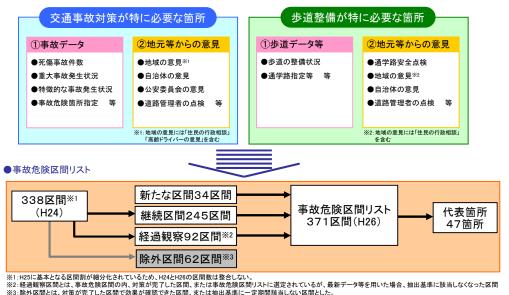
歩道は段差もなく、十分な広さを 有しているため、安全、快適に歩け る環境が整ったと感じられる 国道横断時の待ちスペースも十分 である





事故危険区間リストの追加・選定

- ●最新データ等の反映を行い、371区間を事故危険区間リストとして選定
- 事故危険区間抽出の視点



佐賀国道事務所管内における事故危険区間(主な代表箇所)の位置図 別紙-2

